

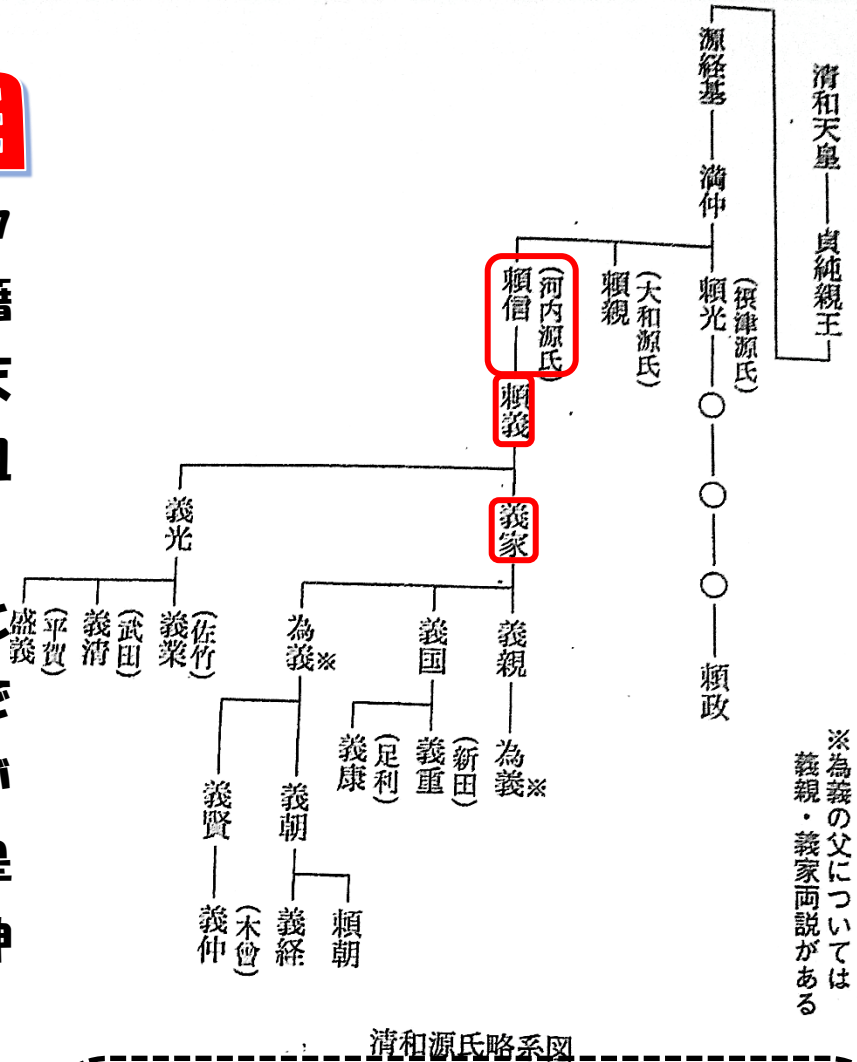
歴史を学ぶ講座

新・八幡の歴史 21 回目

前回は中世の八幡 源氏と八幡宮のテーマでした。桓武天皇(737~806)の8世紀末、皇族激増のために天皇の子孫から臣籍降下(皇族がその身分を離れ、姓を与えられ臣下の籍に降る)でそれに対処。桓武天皇を祖先とする子孫を「桓武平氏」、清和天皇(850~881)を祖先とする源氏は、「清和源氏」と。源氏の八幡宮崇敬の根拠。平安時代末、頼義は八幡宮参詣、八幡神から靈験を賜ったとし、その後生まれたのが義家。彼は東北に根を張り、八幡宮で元服したことから八幡太郎義家と呼ばれる。八幡神の祭神が応神天皇で、祖父頼信が河内守、身近に仁徳天皇(応神天皇第4皇子)陵があり、八幡宮が源氏の氏神だとのお話も。武神として。応神天皇の母神功皇后の武勇伝から来ているのかな。

- ① 日時 2020年7月23日(木) 13時30分~
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

新・八幡の歴21回目です。新しくスタートしています。前のお話と違う部分も話されるそうです。



八幡まるごと館 / 八幡市男山松里1-2-20
 (TEL&FAX) 075-983-3664
 (E-MAIL) yawata@marugotokan.net
 ホームページは <http://marugotokan.net>
 又は、八幡まるごと館で検索して下さい

八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。